



新型コロナウイルスワクチン接種について、 IBE・ILAEの共同声明が出されました

日本でも、新型コロナウイルスワクチンの接種が始まりました。現在まで、特にワクチン接種とてんかんに関する留意点などの報告はありません。これに先だち、国際てんかん協会(IBE)と国際抗てんかん連盟(ILAE)が、てんかんのある人たちに向けてワクチン接種の大切さと、配慮すべきことを、声明として発表しました。日本てんかん学会(JES)のガイドライン作成委員会(赤松直樹委員長)が翻訳版を公表していますので、下記のとおりご紹介します。ワクチン接種時の参考とし、不安なことがありましたら、必ず主治医に相談をしてください。

新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチンとてんかんをもつ人

新型コロナウイルス(COVID-19)に対するワクチンが認可され接種可能となりつつあります。てんかんを有する状態が、COVID-19ワクチンによっててんかん発作を含めた副作用リスクが高くなることを示唆する証拠は現在ありません。てんかんをもつ人にとって、COVID-19感染および合併症による危険性は、COVID-19ワクチンの副作用の危険性をはるかに上回ります。しかし、他のワクチンと同様にCOVID-19ワクチンで発熱をきたすことはあります。そのため発作をきたしやすくなる可能性があります。解熱剤(カロナール/アセトアミノフェン)をワクチン接種後48時間に定期的に(もしくは発熱期間)に内服することによりリスクを最小限にできるでしょう。

COVID-19ワクチン接種を受ける前には、ワクチン接種施行者にあなたがてんかんをもつことを知らせてください。以下のことも情報提供してください。

- アレルギー、特にワクチンに含まれる成分に対するアレルギー
- 過去のワクチン接種時アレルギー反応(例 インフルエンザワクチン)
- 最近もしくは現在の発熱および感染症
- 治療中の全薬剤、特に免疫系を抑制する薬剤(例 免疫調節剤、免疫抑制剤)、抗凝固薬
- 妊娠中、授乳中もしくは妊娠を計画中のとき

他のワクチンと同様に、ワクチン含有成分にアレルギーがある場合はCOVID-19ワクチンを受けるべきではありません。もし1回目の接種でアレルギー反応が出た場合、2回目の接種を受けるべきではありません。

すでにCOVID-19ワクチン接種を受けた人もマスク着用継続とソーシャルディスタンスは重要です。ワクチンにもよりますが、現在のワクチンはCOVID-19に感染するリスクを90%程度まで減少させることができます。しかし、ワクチン接種後にもCOVID-19に感染していることがわからないうちに、他人にウイルスを拡散すること可能性があります。



「世界てんかんの日2021」記念イベントを オンラインで行いました

IBEとILAEが2月の第2月曜日に定めた「世界てんかんの日(IED)」(今年は、2月8日)を記念し、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のためYouTube配信で記念イベントを行いました。

JES広報・資格審査委員長 三國信啓先生(札幌医科大学)の開会あいさつの後、山内秀雄先生(埼玉医科大学)が医療講演を行いました。その後、当事者と家族のメッセージがあり、最後に協会の梅本里美会長が閉会の挨拶とアピールを行いました。来年は、皆さんと直接お会いできることを願っております。

※「世界てんかんの日」は、一般社団法人日本記念日協会に公式記念日として登録されています。



▲当日プログラム集